



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

福祉部 名称	有限会社 コンフォート	代表者	平 俊夫	法人・ 事業所 の特徴	事業所は静かな住宅街にある平屋で、夜間以外は施錠せず誰でも出入りしやすくしている。また、庭には畑や畑に降りれるスロープもあり、季節の野菜を栽培し利用者の皆さんと収穫し食事として提供したり、花見をしたりして季節を感じられる。ウッドデッキもあるので事業所外でも楽しめる。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所くくば原	管理者	平 成美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	ケア内容一覧表の見直しは行ったが活用できていなかった。2021年度は評価した上で介助方法を職員で統一し活用していく。	一覧を活用することで新入職員にも分かりやすかった。	利用者の状態は徐々に変わるため定期的に見直しが必要。	ケア一覧表を定期的に見直す。又職員のグループラインを活用して情報を共有することで利用者のケアを統一出来る。
B. 事業所の しつらえ・環境	四季折々の花を地域や他事業所にも見てもらえるよう検討し、案内しながら当事業所の利用者が花を見たり外に出たいという気持ちを抑えないよう今後も施錠しない様にしていく。	事業所の施錠はされていないので利用者さんも自由にデッキに出て庭を見れている。	初めて事業所を拝見させていただいたが明るく畑も大きくていい雰囲気。色んな野菜が栽培されている。桜が咲いたら呼んでほしい。	事業所内・外の環境整備を継続し遊びに来られた地域の方、ご家族含め通いの利用者に季節を楽しんでいただく。
C. 事業所と地域の かかわり	ウッドデッキを事業所以外の方でも活用できるように職員で案を出して案内文が出せる。	新型コロナウイルスの影響で積極的に交流が持てなかった。	どこの事業所も同じだと思うのでコロナが落ち着いたらまた地域との関りが増えるよう工夫したらいいと思う。	※前回の改善計画をコロナの影響で達成出来ていないので今年も計画は継続。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	再開している「ゆんたく会」に職員が順番で参加し地域との交流を持つ。	新型コロナウイルスの影響で地域に出向く事が出来なかった。	緊急事態宣言が解除されたのでイベントは再開予定。状況を見ながら参加していいと思う。	※前回の改善計画をコロナの影響で達成出来ていないので今年も計画は継続。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議の議事録を全職員で確認していく。また、改善が必要な事があれば皆で検討する。	玄関前に会議ファイルがある事を周知している。どんな様子の写真が会議に使われているのか見たり議事録も呼んでいる。	新入職員もいるので会議に参加させてはどうか。小規模はどうあるべきかを理解する。	職員が順番で参加し、会議の目的と意見交換の内容を知る。
F. 事業所の 防災・災害対策	2021年度は、地震から火災の流れで避難訓練を行う。	7月に地震から火災の流れで避難訓練を行った。	事業所の防災計画を職員全員で把握する必要がある。	避難訓練をする前に防災計画を全員で確認してから訓練に取り組む。